

# 第27回 全国街路事業コンクール

# 優 秀 賞

## 東京都建設局

## JR中央本線(三鷹駅~立川駅間)他連続立体交差事業

都 市 名	東京都三鷹市、武蔵野市、小金井市、国分寺市、国立市、立川市	事業主体	東京都
事業概要	<p>本事業はJR中央本線の「三鷹駅~立川駅」間の約13.1kmの区間のうち約9.0kmを高架化し、18箇所の踏切を除却することで、道路ネットワークの形成を促進し、交通渋滞や地域分断を解消する事業である。</p> <p>事業前は、小金井街道踏切部においてピーク時の遮断時間が58分、最大530mの渋滞が生じるなど慢性的な交通渋滞が発生しており、一刻を争う緊急・救急活動等の妨げになるなど、都民生活に深刻な影響を及ぼしていた。</p> <p>本事業により、1日9~15時間あった踏切遮断時間が無くなり、慢性的に発生していた交通渋滞が解消された。また、踏切事故も解消され、道路と鉄道それぞれの安全性が向上するとともに、鉄道により南北に分断されていた地域が一体化され、沿線のまちづくりの発展に大きく寄与した。</p> <p>○事業延長：約13.1km(うち高架化区間約9.0km)   ○側 道：延長約5.0km、幅員6m~14m、路線数12本 ○事業費：約1,741億円                                   ○事業期間：平成7年度~平成25年度</p>		
表彰理由	<p>18箇所の踏切を除却したことで、慢性的な交通渋滞が解消され交通ネットワークの形成が促進されるとともに、道路・鉄道双方において安全性が確保されたことで都心方面における交通利便性が飛躍的に向上したことが高く評価された。</p> <p>また高架下空間においては、地元要望などの多様なニーズを踏まえて商業施設や保育所を整備するなど、地域と一体となって事業を進める取り組みを行った点が高い評価を得た。</p>		

